

代金の問題 ②（表なし）

自分で表をかいて式をつくる

なまえ _____

ひづけ _____

表は自分でかこう。文章から表を作って、等しい量を見つけて式をつくろう。

- ① 1枚50円の画用紙と1枚10円の折り紙を、合わせて20枚買ったら、代金は640円でした。
画用紙は何枚買いましたか。

ここに 表 → 式 → 解く → 確かめる の順に書く

答え _____

- ② 1まい84円の手紙の切手と1まい63円のはがきの切手を、合わせて15まい買ったら、
代金は1092円でした。手紙の切手は何まい買いましたか。

ここに 表 → 式 → 解く → 確かめる の順に書く

答え _____

- ③ 動物園の入場料は、おとな1人600円、子ども1人350円です。
おとなと子どもが合わせて18人入場して、入場料の合計は8050円でした。おとなは何人でしたか。

ここに 表 → 式 → 解く → 確かめる の順に書く

答え _____



代金の問題 ② (表なし) 【こたえ】

こたえ・考え方・先生へ

なまえ _____

ひづけ _____

① 画用紙をx枚買ったとする。

	1枚の値段	個数	代金
画用紙	50円	x枚	50x円
折り紙	10円	(20-x)枚	10(20-x)円
合計		20枚	640円

$$\begin{aligned}\text{式 } 50x + 10(20 - x) &= 640 \\ 50x + 200 - 10x &= 640 \\ 40x + 200 &= 640 \\ 40x &= 440 \\ x &= 11\end{aligned}$$

確かめ $50 \times 11 + 10(20 - 11) = 640$ (問題の640と同じ)

答え 画用紙は11枚(折り紙は9枚)

考え方 合わせて20枚なので、折り紙は20からxをひく。代金の合計が640円と等しい。

② 手紙の切手をxまい買ったとする。

	1まいの値段	個数	代金
手紙の切手	84円	xまい	84x円
はがきの切手	63円	(15-x)まい	63(15-x)円
合計		15まい	1092円

$$\begin{aligned}\text{式 } 84x + 63(15 - x) &= 1092 \\ 84x + 945 - 63x &= 1092 \\ 21x + 945 &= 1092 \\ 21x &= 147 \\ x &= 7\end{aligned}$$

確かめ $84 \times 7 + 63(15 - 7) = 1092$ (問題の1092と同じ)

答え 手紙の切手は7まい(はがきの切手は8まい)

考え方 合わせて15まいなので、はがきの切手は15からxをひく。代金の合計が1092円と等しい。

③ おとなをx人買ったとする。

	1人の値段	個数	代金
おとな	600円	x人	600x円
子ども	350円	(18-x)人	350(18-x)円
合計		18人	8050円

$$\begin{aligned}\text{式 } 600x + 350(18 - x) &= 8050 \\ 600x + 6300 - 350x &= 8050 \\ 250x + 6300 &= 8050 \\ 250x &= 1750 \\ x &= 7\end{aligned}$$

確かめ $600 \times 7 + 350(18 - 7) = 8050$ (問題の8050と同じ)

答え おとなは7人(子どもは11人)

考え方 合わせて18人なので、子どもは18からxをひく。代金の合計が8050円と等しい。

先生へ

- ・つまずきやすい所: 表が無いと、2つの品物それぞれの「値段・個数・代金」をそろえて書けず、合計の式がぬける。
- ・表をかけないときは、問題文の数量を表す言葉(合わせて・ずつ・何倍・何年後・和 など)に線を引かせ、行と列を先に決めさせる。
- ・答え面はxを1通りにおいた解き方。別のおき方(たとえば別の数量をxにする)でも、等しい量を式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(xは文字のxで見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。